

第2学年 国語科学習指導案

令和3年6月29日（金）2・3校時
2年2組 30名
授業者 仲間 章子 印

- 1 単元名 「やさいのつくり方ブック」を作ろう
教材名 「サツマイモのそだて方」（東京書籍2年上）

2 単元の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。	文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。	これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、進んで二つの文章に書かれている事柄や説明の中で重要な語や文などを考え、学習課題に沿って、二つの文章を読み比べて分かったことや考えたことを伝え合おうとする。

3 単元について

(1) 教材観

本単元は、「読み比べ・表現の工夫」の系統の説明文として、最初の単元である。その題材として、サツマイモの育て方について説明した二つの文章からなる。一つ目の文章は、時間的な順序で書かれており、サツマイモの育て方を順を追って説明したものであることから、初めてサツマイモを育てる人にとっても、一連の手順が分かりやすく説明されている。一方、二つ目の文章は、小見出しを用いて、立派なサツマイモをたくさん育てるための三つの項目に分けられて書かれている。一つ目の文章と違い、文字量も少なく、見出しが効果的に使われ、見出しを見れば書かれている内容が一目で分かるようになっている。その二つの文章に書かれている事柄や順序、説明の仕方を比べて、共通点や相違点を見つけ出したり、それぞれのよさや目的を考えたりする学習を設定している。

(2) 児童観

本学級の児童に調査した事前アンケート・自己評価では、下記の通りの結果となった。
(対象 第2学年2組30名 6月21日実施)

調査結果から、国語の学習に対する「興味関心・意欲」は高いが、「順序や情報の読み取り」に関しては、学級の半数近くが苦手意識を持っていることが分かる。同日に行った、情報を読む力を見取るための事前調査では、二つの異なる文章から目的に沿った文章を選ぶ設問において、正答率90%であった。しかし、具体的な読み取りになると、38%と低く、情報を読み取る事に関しての理解が弱いことが分かった。考えを表現できることに関して、肯定的な回答した児童は、約27人と、多くなっている。5月に実施した授業の様子を振り返ってみると、児童に問いを投げかけたとき、確かに多くの子が表現しようとする姿勢が伝わってきた。しかし、思考をアウトプットしていることには変わりはないが、本質的な考えや意見に迫ることのできる児童は多くなかった。また、上記のグラフには反映されていない項目として、他者と共有することのよさについて、学級の全児童が肯定的な解答をしている。その多くが、

	当てはまる	まあまあ当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない(人)
情報を読み取れる	5	13	9	3
順序が読み取れる	11	7	10	2
考えを表現できる	12	15	3	0
授業後の達成感がある	13	11	2	4
意欲を持っている	18	9	3	0
興味・関心がある	9	19	1	1
学習の見通しが持てる	7	11	9	3

「考えるときのヒントになる」「分からないことが分かるようになる」「協力して考えることができる」「新しいアイデアが思い浮かぶ」という理由であった。本単元では、共有活動を積極的に取り入れながら、苦手意識がある項目を、それぞれ肯定的に捉える児童が増えることを期待したい。

(3) 指導観

指導にあたっては、第1次の導入部分で、単元への興味・関心を深め、ゴールに迫るための見通しを持たせながら、必要とする力をはっきりと示していきたい。その手段として、プレゼンテーションを用いて、単元の学習シミュレーションや、解説を行いながら、「やってみたい」「できそう」という気持ちを大事にしていく。第2次では、2つの文章に書かれている内容を、それぞれ時間的な順序や事柄のまとまりなどに注意しながら詳しく読み取らせ、それぞれのよさに気付かせる。また、2つの文章を読み比べることで、共通点や相違点、それぞれのよさを見つけることで、目的や用途に応じて説明の仕方に違いがあることを捉えさせる。そうすることで、目的や意図に応じて文章の書き方を選択する素地も養いたい。第3次では、学んで身につけた資質・能力を発揮できるような言語活動「やさいのつくり方ブックを作ろう」を設定し、実生活や生活科の野菜作り等に役立つことを、主体的な学ぶ意欲につなげながら進めていく。

4 研究テーマと研究仮説

説明的な文章における読む力を高める指導の工夫

～視点を明確にし、学びを可視化・共有することを通して～



【研究仮説】

説明的な文章の「読むこと」の学習において、視点を明確にし、読み取ったことや考えたことを可視化・共有することで、重要な語や文等の必要な情報を正しく読み取ったり、互いの考えを広げたり深めたりすることができ、読む力を高めることができるであろう。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。【(2)ア】	② 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。【C(1)7】 ③ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。【C(1)ウ】	学習課題を明確にし、二つの文章を読み比べて分かったことや考えたことを伝え合おうとしている。

6 指導と評価の計画【全12時間】

時	学習目標	・主な学習活動	○指導上の留意点 ◎視点 ◇可視化 ◆共有	【評価規準】
第1次	1 ○学習の見通しを持つことができる。	・ICTを用いて、既習事項を振り返ったり、チャレンジ問題に挑戦したりする。	○既習事項を想起させる。	(指導に生かす評価) ・学習の見通しを持つことができる。
	2 ○二つの文章の違いを大まかに捉えることができる。	・二つの文章を読み、気付いたことを話し合う。 ・言語活動のモデルを示し、ゴールに向かうための学習計画を立てる。	○イメージマップで、サツマイモの育て方に関する知りたいことを記録・共有し、どちらの文章を読むと分かりやすいかという問いにつなげる。 ◇イメージマップ◆グループ ○全文シートを用いて気付いたことを共有させ、計画につなげる。 ◇全文シート◆全体	
第2次	3 ○一つ目の文章を読み、時間的な順序や事柄の順序等を考えながら、内容の大体を捉えることができる。	・一つ目の文章を読み、視点に沿って、重要な語や文を選び出す。 ・読み取ったことをまとめて順序や構成を考える。	○読み取る視点を明確に提示する。 ★「時期」「手入れ」「様子」◆グループ ○読み取ったことを記録し、整理することで、文章構造や内容の理解を深める。 ◇短冊◇マトリクス◆グループ	【思・判・表】 ・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができた。
	4 ○二つ目の文章を読み、	・二つ目の文章を読み、視点に	○一つ目の文章と同じ視点で情報を読み取るこ	

第三次	5 6	文章の中から視点に沿った重要な語や文を考えて選び出すことができる。	沿って、重要な語や文を選び出す。 ・課題を解決するための必要な語や文を考えて抜き出す。	とができるかを問い、伝える内容に違いがあることに気付かせる。 ○話題提示から問いを作り、課題とする。 ○問題解決チャート ◎「うねを作る良さ」◆赤白トーク ◎「よいなえ」◆グループで画像を用いて話し合う。 ◎「ひりょうの量」◆全体で丸バツクイズ ◇身近な生活と比較させたりイメージさせたり、具体的なものを示して実感を伴う理解につなげる。	(観察・ワークシート) ・文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができた。 (観察・ワークシート)
	7	○二つの文章を読み比べ、違いを見つけることができる。	・二つの文章を読み比べ、違うところを見つける。	○二つの文章の共通点や相違点を考えて書く。 ◇ベン図◆全体 ○2時目に出た、視覚的な違いを確認し、本時につなげる。 ○二つの文章で共通して述べられていることを考えさせる。◆グループ	【知・技】 ・二つの文章を比較して、共通・相違などを理解することができた。(ワークシート)
	8	○文章を読み比べて、共通点を見つけることができる。	・二つの文章を読み比べ、共通点を見つける。		【態】 二つの文章を読み比べて分かったことや考えたことを伝え合おうとしていた。(観察・ワークシート)
	9	○二つの文章には、目的に合わせた説明の違いがあることを捉えることができる。	・二つの文章それぞれのよさを見つけ、筆者は、どんな目的でこの文章を書いたのかを考える。	○なぜ、説明の仕方が違うのかという点を押さえる。◆ペアー全体でフリートーク ○これまでに作成したことを可視化して掲示する。◇思考ツールを掲示して比較◆全体 ○目的や用途に合わせて文章が違っていることを押さえる。◆全体	
第三次	10 11 12	○植物を育てるために重要な情報を読み取り、まとめることができる。 ○作品を共有し考えを持つことができる。	・自分の育てたい野菜のそだて方を調べ、目的に合った重要な語や文等を選び、「やさいのそだて方マップ」を作る。 ・作品を共有し、感想を持つ。	○読み取りの際に学んだ視点を生かして書くようにする。◆ペア ○みんなの「やさいのそだて方マップ」を1冊にまとめ、「やさいのそだて方ブック」を作る。 ◆作品を共有	【思・判・表】 図書教材の中から、文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができた。(ワークシート)

7 本時の学習【5～6/12】

(1) 本時の目標

文章の中から視点に沿った重要な語や文を考えて選び出すことができる。

(2) 本時の評価規準

文章の中から視点に沿った重要な語や文を考えて選び出すことができた。

(3) 本時の授業の工夫

①読み取る視点を明確にすることで、文章の中の大事な語や文を選び出すための理解を深める。

②思考ツールを用いて、情報をまとめることで、内容の大体を捉えることができるようにする。

(4) 展 開

時	学習活動	○指導上の留意点 ★主な発問	評価規準
5 時 目	1めあての確認	○前時の学習を振り返り、一つ目の文章との大きな違い(見出し)から、めあてにつなげる。 めあて：見出しを せつめいするための 大じな ことばや文を 見つけよう。	【態】 ・自分の考えを友達に伝えようとしていた。
	入	○学んだことを言語活動の「やさいのつくり方マップ」に生かすことを確認し、学習の見通しを持たせる。	
展 開	2見出し①「高いうねを作る」の内容を読み取っ文をまとめる。	○読み取った情報を手がかりに、見出しと文章を対応させる。 ★どんな言葉や文に注目すると、見出しと文章をセットにできるかな。 ○呼びかけの文をもとに、問題解決チャートを用いて、イモを育てるためのポイントを整理していく。 ○それぞれの見出しごとに、大事だと思う文にしるしをつける。(考：1回目) ○一つ目の見出しについて考える。 ★なえは、うねの上と下、どちらに植えるのでしょうか。	

		○文の中にある言葉を使って、理由を伝え合う。 ○赤白トークで立場を示す。考えが変わった人は帽子の色を変える。 ○視点を与え、大事だと思う文に線を引く。(考：2回目) ★うねを作ると、どんないいことがあるのかな。 ○全体の考えをまとめる。	
終末	3 振り返り	○振り返りの視点 ・大事な言葉を選び出せたか (どのように) ・共有を通して学んだこと など	
6 時 目 開	導 入	1 めあての確認	【思・判・表】 ・文章の中から、視点に沿った重要な語や文を考えて選び出すことができた。 (観察・ワークシート)
	展 開	2 見出し②「よいなえをえらぶ」の内容を読み取って、大事な語や文をまとめる。	
		3 見出し③「ひりょうをやりすぎない」の内容を読み取って、大事な語や文をまとめる。	
	終末	3 まとめ 4 振り返り	

(5) 板書計画

